

## 普及啓発活動

---

---

# 普及啓発活動

気候変動探偵局生き物大移住計画を調査せよ  
オンラインセミナー「誰でも気軽に参加！市民参加型  
調査で変わりゆく気候と自然を見つめよう」

広報チラシ

※令和4年度気候変動適応における広域アクションプラン推進事業中部地域事業

気候変動探偵局

生き物  
大移住計画を  
調査せよ!

オンラインセミナー

誰でも気軽に参加！市民参加型調査で

## 変わりゆく 気候と自然を 見つめよう

令和5年2月15日(水)

10:00～12:00 オンライン開催

※後日、右記URL内でYoutubeによる見逃し配信をします

※調査プロジェクトの詳細はこちら

**気候変動による生物多様性への影響とは？  
市民参加型のプロジェクトでどんな結果が得られるの？**

中部地域では、気候変動の影響が生き物をとりまく自然生態系に及ぼす影響を調べるため、昨年度に引き続き、市民参加型調査を実施しました。調査結果の報告とあわせて、生物多様性や市民科学がご専門の方々をお招きし、生物多様性や適応策の最新情報、市民参加型調査の意義などを知る、考える機会とします。

事前  
申込  
2/10のみ

参加  
無料

結果報告

誰でも気軽に参加できる市民モニタリング  
気候変動探偵局『生き物大移住計画を調査せよ!』結果報告  
環境省 中部地方環境事務所

講義 1

『気候変動・適応策 × 生物多様性  
2022年末のCOPを振り返る』

香坂 玲 氏  
東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授/日本学術会議 連携会員(環境学)  
フューチャーアース、地方創生にも参画。生物多様性条約COP10支援実行委員会アドバイザー、国際連合大学高等研究所客員研究員。

講義 2

『市民科学の意義と市民参加型調査の実践事例』

小堀 洋美 氏  
東京都大学特別教授/一般社団法人生物多様性アカデミー代表理事  
国内外の生態系と生物の現状と課題発見・保全・再生などの活動を、市民・NPO・行政などと共に実施。日本環境学会会長、環境再生保全機構・地球環境基金専門委員など。

**参加お申込み・お問い合わせ**

※申込フォームはこちら

■申込フォームまたはメールにて、氏名(フリガナ)・職業・メールアドレスを明記の上お申し込みください。  
※メールの場合は件名に「生き物大移住計画オンラインセミナー参加希望」と記入  
※開催日前日に、申込登録したメールアドレス宛に、ZOOMの参加URLをお送りします

**事務局**

株式会社 地域計画建築研究所(アルバック)  
〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル7階  
E-mail: adapt-chubu@arpak.co.jp (担当: 植松)

**主催**

中部地方環境事務所  
気候変動適応広域協議会

## 普及啓発活動

今年度の活動予定①  
(市民向けセミナー)

自然生態系への影響分科会

**気候変動探偵局生き物大移住計画  
を調査せよオンラインセミナー**  
「誰でも気軽に参加！市民参加型調査  
で変わりゆく気候と自然を見つめよう」

日 時：令和5年2月15日 10~12時  
会 場：オンライン  
参加者：一般市民、行政等

## (内容)

- 市民モニタリング調査について広く啓発し、結果の有効活用につなげるため、セミナーを実施
- 市民モニタリング結果報告
- 講演「気候変動・適応策×生物多様性2022年末のCOPを振り返る」  
香坂 玲 氏
- 講演「市民科学の意義と市民参加型調査の実践事例」  
小堀 洋美氏

今年度の活動予定②  
(自治体向け研修会)

流域圏での水資源管理分科会

**「中部地域を取り巻く水資源の現状  
- (冊子名) の紹介と活用について -」**

日 時：令和5年3月17日  
13時30分~15時30分

会 場：オンライン開催  
参加者：地方公共団体職員や研究者、  
関係機関など

## (内容案)

- 冊子を次年度以降、有効に活用いただくため、講演・説明を実施

## 【登壇者】

- 岐阜大学 准教授 地域環境変動適応研究センター センター長 原田 守啓氏
- 名古屋大学 大学院工学研究科 准教授 中村 晋一郎 氏 ほか

## 【内容】

- 「中部地域における水利用の特徴と全体像」
- 「水利用の現況とステークホルダー」
- 「中部地域の水資源における温暖化の影響と適応策」
- 「冊子の概要と活用について」

今年度の活動予定③  
(研修会)

地域での脆弱性・リスク分科会

**「脆弱性・リスク抽出ワークショップ  
モデル (マニュアル) 活用研修会」**

日 時：令和5年3月7日  
13時30分~15時30分

会 場：オンライン開催  
参加者：地方公共団体職員等  
回 数：1回、半日程度

## (内容案)

- 分野横断的な脆弱性・リスクの抽出を行うための地方公共団体向けワークショップモデル (マニュアル) について、今後、活用していただくため研修を実施
- 有識者による講演
- 名古屋大学 大学院環境学研究科 特任准教授 杉山 範子氏
- 中部大学 中部高等学術研究所 副学長・所長・教授 福井 弘道氏
- ワークショップ開催モデル自治体からの体験談
- ワークショップマニュアルについて